

語り合う

生命誌の広場

中村桂子の  
ちょっと一言

ラボ日記

表現スタッフ日記

さまざまな交流

生命誌のこれからを  
考える

## 生命誌の広場

### テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」▶
- 研究について▶
- 季刊「生命誌」▶
- 展示・映像▶
- その他▶

あなたの考えを  
お聞かせください

ご意見はこちらから

### 最新のお返事

- 2019年10月02日  
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日  
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日  
[原爆について](#)
- 2019年09月05日  
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日  
[この夏一番元気だったものは？](#)

### 最新のご意見

- 2019年09月27日  
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日  
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日  
[原爆について](#)
- 2019年09月05日  
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日  
[この夏一番元気だったものは？](#)

### 過去の書き込み

2019年 10月  
GO

### みなさんからのご意見



#### 中村桂子の「ちょっと一言」

#### ことしも終わりです・・・

投稿日：2016.12.15 ニックネーム：teru

中村先生へ今年もあとわずかになりましたね・・・  
NHKBS「英雄の選択」で歴史にもでておられましたね・・・磯田先生とは日文研でお会いし歴史の研究は見てきたように語られます。  
書は「知のは発見」を読ませていただきました、そうさんそうさん・・・知の感動・・・まえがきでその本が早く終いまで急いで読みたいと思うものですね・・・クラシック音楽も同じかな・・・  
書評での本も何度か買ってますね・・・  
最近では11月の正倉院宝物181点ガイドをてにしました。2年毎に正倉院に出かけております。  
60周年のときは瑠璃杯を見ることができました。  
図録は毎回購入してます・・・今年は68回でした。  
京都歴史博物館では黄金のファラオにも・・・歴史は随分違います、こんな時代にどうしてつくったのか・・・私も後期高齢者になり読みたい本も何冊読めるかな・・・と思う時があります。  
中村先生来年は来年の目標はいかがでしょうか・・・良いお年をお迎えください。  
今年もありがとうございました。

勝手な独り言ですから・・・ご返事はなくて結構です。

### お返事

投稿日：2016.12.17 名前：中村桂子館長

本当に今年も終わりですね。手帖を一月から順に眺めると、コツコツやってきただけの一年が見えてきます。そんな中で年末最後、恐らく来週末に「まど・みちおの詩で生命誌をよむ」(NHK出版)が本屋さんで並ぶと思います。ラジオ番組のテキストです。「ちょっと一言」(2017年1月5日更新)にも書きましたのでごらんいただければ幸いです。

### 季刊「生命誌」

#### フィッシュボーン錯覚はすごい。

投稿日：2016.12.05 名前：おりさん

研究館のみなさん、こんにちは。私が住む群馬県から見える浅間山は少しずつ白くなっています。冬のはじまりを感じます。  
季刊誌90にあったフィッシュボーン錯覚は、6歳の息子と楽しみました。楽しくて何度も遊びました。2人だけで遊ぶのはもったいない気がして、普段よく遊ぶ幼稚園年長児5人と、私のママ友や、私たち親子のかかりつけの小児科医などの大人9人に、それぞれフィッシュボーンをなぞってもらいました。(なぞってもらったあとには種明かしをしています)幼稚園年長児は、5人中の4人が「でこぼこ！」と答え、1人は「すべすべ」と答えてくれました。ママ友や小児科医などの大人9人中8人は「でこぼこ」と答え、1人は「つるつる」との結果になりました。「すべすべ」と答えた年長児1人は指が細い児童でした。「つるつる」と答えた大人は小児科医でした。本当はもっとたくさんの人に調査をさせてい



### 新着情報



10月19日生命誌オープンラボ (19.10.01)

10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会(19.10.01)

昆虫脳の標本展示が登場！(19.10.01)

パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始(19.10.01)

あくあびあ芥川とスタンプラリー開催(19.10.01)

ただき、数字にしたいところですが、身近な仲間と楽しめました。ヒトの感覚は不思議ですね。楽しかったです。冬号を楽しみにしています。明日、来るかな♪

## お返事

投稿日：2016.12.06 名前：中村桂子館長

大勢で楽しんでいただいている様子が目に浮びます。このように活用していただくのが一番嬉しいことです。ありがとうございます。これからも楽しいものと思っています。

▲ ページの先頭へ

[サイトのご利用について](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#) | [リンクポリシー](#) | [サイトマップ](#)



JT生命誌研究館  
〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1 TEL:072-681-9750 (代) FAX:072-681-9743

copyright © JT Biohistory Research Hall 2012.